

採点項目表 検査職員

起工番号 号 [検査職員]
検査番号 号

※ 該当項目の ☐ に数字「1」を入力する。
（※印をつけた項目は主に現場検査時に確認できるもの）

2 施工状況

I. 施工管理

指摘事項コメント欄

	良	可	不可
良			
可			
不可			

無

	施工計画書が提出されており、その内容も適切である。（久留米市における当初請負額5,000万円以上の工事）
	簡易型の施工計画が提出されており、その内容も適切である。（〃 当初請負額5,000万円未満の工事）
	施工体制（コリンズの提出物、腕章やヘルメット着用および段階確認）が充実している。
	施工体制台帳が適切である。

		(注)

[illegible]

施工体系図が適切である。 ※水準点（ベンチマーク）を適切な管理のもとで設置しており、管理写真がある。 該当工種の段階確認の管理資料及び写真が充実している。 建設廃棄物の適正処理が写真や集計表等で確認できる。 安全管理（安全訓練活動報告チェックリストを含む）が適正に行われたことが確認できる。 必要な足場・支保工が適正に設置されているのが写真で十分確認できる。 総合評価方式の施工提案に関する確認資料が充実している。	
--	--

※現場代理人及び主任（監理）技術者の現場管理能力および取組姿勢が良好である。

(良×a+可×b-不可×c) / (対象項目最大合計点) = % 判定

(項目が少ない場合は特例を使用してください)

	該当項目が60～80%未満・・・3'
--	--------------------

--	--

該当項目が20～40%未満・・・b'

該当項目が-10～0%未満・・・d

[illegible]

*主任（監理）技術者がよく現場を把握していない。・・・・・・・・・・d

--	--

* 施工体案図・施工体制日帳と実態が 致していない。 d

--	--

* 検査に對する受検態度が悪い

--	--

「不快直時に現場に投入もしくは受注者（乙）と主任技術者が共に不在であった。」

直接入力

直接入力

直接入力

直接入力

直接入力

直接入力

【施工管理の少数項目の特例】（施工状況評価項目数が4個以下では下記で評価を行う）

品質評価項目数= 特例適用判断→

[illegible]

	該当項目が40%以上	5
	該当項目が-40~40%未満	6

--	--

[] 吹雪填目方 4070米欄 d

3 出来形及び出来ばえ

[検査職員]

I. 出来形

良	可	不可
☐	☐	☐
☐	☐	☐
☐	☐	☐
☐	☐	☐

☐
☐
☐
☐

【出来形管理表（管理図含む）の充実度】
適正な出来形施工管理計画が提出されている。
出来形管理総括表、および出来形数量総括表が適切である。
管理項目（測点、変化点および測定値等）に不足がなく、その内容も充実している。
工程能力図（グラフ）の充実度（測点数が10点以上の場合必要）
※出来形管理表や出来形展開図と現場実測値との合致度（抽出したものでよい）

☐	☐	☐
☐	☐	☐
☐	☐	☐

☐
☐
☐

【出来形管理写真の充実度】
作業工程（作業の流れがわかりやすい）
適正な施工状況（各種作業）
不可視部（基礎基面、根入れ、裏込め、鉄筋、杭頭、地中改良、構造物の背面、
水没埋没、撤去物 など）
検寸状況（テープの張り方、目盛確認、計画と実績表示、黒板の表示内容と設置状況 など）
写真の鮮明度及び説明欄の充実

☐	☐	☐
☐	☐	☐

☐
☐

【出来形測定への配慮】
※現場表示（測点、墨上げ、展開図表示 など）
※受注者作成の出来形展開図の出来栄え（測点、測線、設計値、実測値、差の値、
コアの採取位置、B試験の位置、区画線の刻印位置などの記載）

☐	☐	☐
☐	☐	☐

☐
☐

(良×a+可×b-不可×c) / (対象項目最大合計点) = % 判定
(項目が少ない場合は特例を使用してください)

直接入力
直接入力
直接入力
直接入力

- | | |
|--------------------------|---|
| ☐ | 該当項目が80%以上・・・・・・・・a |
| ☐ | 該当項目が60～80%未満・・・a' |
| ☐ | 該当項目が40～60%未満・・・b |
| ☐ | 該当項目が20～40%未満・・・b' |
| ☐ | 該当項目が0～20%未満・・・c |
| ☐ | 該当項目が-40～0%未満・・・d |
| ☐ | 該当項目が-40%未満・・・・・・・・e |
| ☐ | 重要部や主要部である不可視部分の出来形管理写真が不十分。・・・・・・・・d |
| ☐ | *出来形管理数値と現地測定値に大きな差異があり、管理不十分なのが判明した。・・・・d |
| ☐ | *手直しするほどではないが、設計図面等を軽視した施工が見受けられる。・・・・d |
| ☐ | *実測値が許容値を満足しなかったり、出来形不足により軽微な手直しを指示した。
・・・・・・・・d（手直し指示書） |
| ☐ | *実測値が許容値を満足しなかったり、出来形不足により重大な手直しを指示した。
・・・・・・・・e（手直し指示書+再検査） |

【出来形の少数項目の特例】 (施工状況評価項目数が4個以下では下記で評価を行う)
品質評価項目数=
特例適用判断→

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| ☐ | 該当項目が40%以上・・・・・・・・b |
| ☐ | 該当項目が-40～40%未満・・・c |
| ☐ | 該当項目が-40%未満・・・・・・・・d |

Ⅱ. 品質

[検査職員]

☐ 共通
良 可 不可

無

☐				
☐				
☐				
☐				
☐				
☐				
☐				
☐				
☐				
☐				

【品質管理の充実度】

適正な品質管理計画が提出されている。
品質管理総括表の充実度
材料使用願いがきちんと整理されて、もれなく事前に提出されている。
※承認した材料と使用した材料が同一の材料であり、良質であることが確認できる。
管理項目の適正度、充実度
コンクリート打設時の供試体を採取し、強度・スランプ・空気量等が確認できる。
各種試験成績 指定機関の各種試験成績証がもれなくある（対象箇所、個数）。
段階確認の充実度
工場検査の関連資料が充実している。
品質管理資料について、主任技術者等による内容の理解、検証、説明が十分である。

☐				
☐				
☐				
☐				
☐				
☐				
☐				
☐				
☐				
☐				

【品質管理写真の充実度】

見易さ、わかりやすさ
鮮明度
寸法検測 現場搬入時の検収写真が十分確認できる。
重要構造物（基礎杭、基面、基礎材、型枠、配筋、かぶり、養生、検寸など）
不可視部分の品質管理
丁寧な施工が写真で十分確認できる。

☐				
☐				
☐				
☐				
☐				
☐				
☐				
☐				
☐				
☐				

【品質確認】

* 遮水すべきところでの漏水がない。
ひび割れ調査対象構造物（注1）のクラックについては「現場打コンクリート」で評価
コンクリート・モルタル吹付工のクラックについては「種子・客土・厚層基材・
コンクリート・モルタル吹付工・現場吹付法砕工」で評価
* O. 2mm未満のクラック（ヘアークラック）さえ見当たらない。
* O. 2mm以上のクラックが存在する。
* O. 2mm以上のクラックを適正に処理（注2）している。

（注1）「ひび割れ調査対象構造物」とは、下記のものを示す。

内空断面積が25㎡以上の鉄筋コンクリートカルバート類
高さが3m以上の樋門
橋梁上・下部工（ただし、PC橋は除く）
高さ5m以上の鉄筋コンクリート擁壁（ただしプレキャスト製品は除く）
高さが3m以上の堰
高さが3m以上の水門
その他これに類するもの

（注2）適正に処理しているとは、「進行性の場合は経過観察」「その他の場合は補修済み、または補修方針協議済み」を示す。

--

《応急仮工事》

（応急仮工事は施工の迅速性と安全性が特に重要であり、工種も多岐にわたるので品質項目については各工種から該当項目を抽出し対応するか「その他」の追加項目等を利用するものとするが、品質については最低限のものが確保されていれば「可」評価としてもよい。）

☐ 1 土工
良 可 不可

※路肩盛土工

無

【一般土工】

掘削床掘が適正なのが状況写真で十分確認できる。
積込・運搬状況が適正なのが状況写真で十分確認できる。
不陸整正・基面整正の状況が良好であるのが写真で十分確認できる。
埋戻し後の締固め状況が適切なのが写真で十分確認できる。
盛土の敷均し締固めが適切に行われているのが写真で十分確認できる。
掘削法面の施工状況および仕上げ面が写真等で十分確認できる。
土羽等の丁張りを適正に設置しているのが写真で十分確認できる。
段切りが必要な箇所については適切に実施しているのが写真で十分確認できる。
必須の各種土質試験をもれなく行っている。
仮置き・水切りが適切なのが、写真で十分確認できる。
施工中や完了時に雨水等による崩壊防止のためにシートや仮排水等の対策を講じている。
※土羽・法面の仕上げが良いのが写真や現地で十分確認できる。
残土処分先が写真や資料で十分確認できる。

☐ 2 岩掘削
良 可 不可

【岩掘削】

岩塊の掘削状況が写真で十分確認できる。
火薬および破砕材の装薬状況が写真で十分確認できる。

☐ 3 軽量盛土
良 可 不可

【軽量盛土】

基面が適正に施工されているのが写真で十分確認できる。
各層のそれぞれの施工が適正で、その状況が写真で十分確認できる。
各層の設置個数が写真で十分確認できる。

☐ 4 構造物取壊工（旧橋撤去含む）・廃棄物等処理工
良 可 不可

無

各種取り壊しの手順が適正であるのが、写真で十分確認できる。（舗装版破砕含む）
施工機械が適正に使用されているのが、写真で十分確認できる。
安全に施工されているのが、写真で十分確認できる。
振動、騒音、粉塵、飛散、汚濁等への被害防止対策が、写真で十分確認できる。（通常なし）
各種廃棄物および搬出物の搬出状況や処分先が写真や集計表等で十分確認できる。

1

無六

[illegible]

必要な足場・支保工が適正に設置されているのが写真で十分確認できる。
不陸整正・基面整正の状況が良好であるのが写真で十分確認できる。
基礎材・均しコンクリートが適切に施工されているのが写真で十分確認できる。
基礎材の厚さ等の寸法が確認できる。
鉄筋の規格・加工・組立・圧接が適切に行われているのが写真で十分確認できる。
鉄筋の圧接がある場合、引っ張りや曲げ強度試験値が確認できる。
スパーサー等により、鉄筋のかぶりの確保が写真や資料で十分確認できる。
スパーサー材料の規格・品質が確認できる。
型枠の設置状況が適切で、その状況が写真で十分確認できる。

[illegible][illegible]

コンクリートシュート高さ（1.5m以下、砂防1.0m以下）、1層毎の打設厚（40～50cm以下） 足場板等の設置（直接鉄筋踏み不可） パイプレーター状況（適切な深さ） 打ち継ぎ目処理（レイタンス処理や薬剤散布） 養生（養生シート＋散水、必要に応じ保温） ※Pコンが前面背面とも適正な材料が使用されており表面処理も適切である。 目地・止水板・吸出防止材が適正に設置されているのが写真で十分確認できる。 ※A試験を実施し、必要な強度が確認できる。 現場と同条件の供試体にて圧縮強度試験を実施したのが写真で十分確認できる。 ※指示した箇所のB試験が全て1回でOKである。 ひび割れ調査対象構造物のクラックに関すること	
--	--

~50cm以下)

A 3x3 grid with diagonal lines in the bottom-left and top-right cells.

ひび割れ調査票のとりまとめ精度

- * O. 2mm未満のクラック（ヘアークラック）さえ見当たらない。
- * O. 2mm以上のクラックが存在する。
- * O. 2mm以上のクラックを適切に処理(注)している。

(注)適切に処理しているとは、「進行性の場合は経過観察」、「その他の場合は補修済み、または補修方針協議済み」を示す。

1

無

[illegible]

不陸整正・基面整正の状況が良好であるのが写真で十分確認できる。
基礎材・均しコンクリートが適正に施工されているのが写真で十分確認できる。
基礎材の厚さ等の寸法が確認できる。
基礎コンクリート（基礎ブロック）が良質で適正に施工されているのが写真で十分確認できる。
胴込・裏込コンクリートが適正に施工されているのが写真で十分確認できる。
裏込コンクリートの厚さ等の寸法が写真で十分確認できる。
裏込材・中詰材が適正に施工されているのが写真で十分確認できる。
裏込材の厚さ等の寸法が写真で十分確認できる。（最低、上端・下端の2箇所）
吸い出し防止シートの敷設が適正なのが写真で十分確認できる。
水抜き管に吸い出し防止等を取り付けているのが写真等で十分確認できる。
※指示した箇所のB試験が全て1回でOKである。
※かみ合わせや目地等の施工
※勾配がきちんと保たれている。
根入れ埋戻しが適正に施工されていることが確認できる。
※張ブロック（石）が基礎地盤に密着度が良好である。（打音検査や基面状況写真等）

[illegible]

☐ 8 コンクリート2次製品（側溝・擁壁・ボックスカルバート等、ただし橋桁は除く）

良 可 不可

無

☐	不陸整正・基面整正の状況が良好であるのが写真で十分確認できる。
☐	基礎材や敷モルタル材が良質で適正に施工されているのが写真で十分確認できる。
☐	基礎材の敷モルタルの厚さ等の寸法が確認できる。
☐	均しコンクリートやインバートコンクリートを適正に施工しているのが写真で十分確認できる。
☐	製品設置後の埋戻し前の状況が写真で十分確認できる。
☐	製品設置後の埋戻し・締固めの施工状況が写真で十分確認できる。
☐	※製品どうしの噛み合わせが良好である。
☐	製品接合材の設置状況および緊張状況が写真で十分確認できる。
☐	※製品設置が良好である。（不要な傾き（倒れ）など）
☐	※目地や間詰材および吸出し防止シート等の施工が良好なのが写真で十分確認できる。
☐	※製品自体が良好である。（傷・欠損・気泡・クラック等）

☐ 9 基礎（杭）工（場所打ち杭、鋼管矢板含む）

良 可 不可

無

☐	杭に損傷及び補修痕がないのが十分確認できる。（十分な製品外観写真がある。）
☐	杭の打止め管理あるいは場所打ち杭の施工管理記録がよく整備されている。
☐	打設前の杭の芯出し状況が写真で十分確認できる。
☐	杭の傾斜度を厳密に測定しているのが確認できる。
☐	杭溶接がある場合、溶接に関して定められた品質管理を適切に実施している。
☐	有資格者による溶接の実施に関する書類と現地施工の関連性が十分確認できる。
☐	場所打ち杭のコンクリート打設について、トレミー管を打設面より2m以上挿入しているのが十分確認できる。
☐	掘削深度、排出土砂、孔内水位の変動および安定液を用いる場合の孔内の安定液濃度と比重が適切に管理されている。
☐	注入材料の圧力や量が施工記録により確認できる。
☐	※杭頭の位置（座標）が許容範囲内であることが十分確認できる。
☐	杭頭処理が適正に施工されているのが写真等で十分確認できる。

--

☐ 10 深礎工

良 可 不可

無

☐	安全性など適正な掘削状況であることが写真で十分確認できる。
☐	設置前の土留材（ライナープレート）の芯出し状況が写真で十分確認できる。
☐	土留材（ライナープレート等）が良質で適正に施工されているのが十分確認できる。
☐	土留材（ライナープレート）の傾斜度を厳密に測定しているのが確認できる。
☐	鉄筋の組み立てが適正なのが写真で十分確認できる。
☐	土留材（ライナープレート）と地山との間に生じた空隙部の裏込注入が十分確認できる。
☐	※施工位置（座標）が許容範囲内であることが十分確認できる。

（ケーソン等特殊工法は各種工程毎にその類似工種の項目を利用して評価する。）

☐ 1 1 地盤改良・安定処理工
良 可 不可 無

- ☐ 改良材が良質であるのが品質資料や写真等で十分確認できる。
- ☐ 改良の深さや範囲が施工状況写真や施工記録等で十分確認できる。
- ☐ 改良材の使用量が番号付き袋の投入写真で全量確認できる。（空袋管理のみは不十分）
- ☐ 改良材の巻き出し厚の管理を十分に行っていることが写真で十分確認できる。
- ☐ 各種ドレーン等の施工が適正に実施されたことが写真や管理資料で十分確認できる。
- ☐ ※十分な改良効果があることが試験結果や現地で十分確認できる。

☐ 1 2 地中連続壁工
良 可 不可 無

- ☐ 改良柱の深さや位置が施工状況写真や施工記録等で十分確認できる。
- ☐ 固化材の注入量が管理データおよび管理写真で十分確認（証明）できる。
- ☐ 配合試験を実施し、強度確認資料がある。
- ☐ 設置前の壁体の芯出し状況が写真で十分確認できる。
- ☐ ※施工位置（座標等）が許容範囲内であることが十分確認できる。

☐ 1 3 補強土壁工・ジオテキスタイル工
良 可 不可 無

- ☐ 施工基面の状況が良好なのが写真で十分確認できる。
- ☐ 基礎工設置が良好なのが写真で十分確認できる。
- ☐ 各段の補強材等の設置状況が適正で各段の長さや本数（枚数）等が写真等で十分確認できる。
- ☐ 各段の敷均し締固めの状況が適正で締固め厚や施工幅等が写真等で十分確認できる。
- ☐ 土留材（擁壁等）と補強材（アンカープレート等）の接合状況が適正なのが写真で十分確認できる。
- ☐ ※壁面材のかみ合わせ等が良好に施工されている。
- ☐ ※壁面の傾き（倒れ）が見受けられない。
- ☐ 吸出防止材の適正な施工が、写真で十分確認できる。

☐ 1.4 舗装工
良 可 不可

※路盤厚は不陸整正厚に読み替え

無

☐				

【路盤工】

路盤材が良質であるのが資料や写真等で十分確認できる。
路盤厚の基準高による測点毎の管理を実施しているのが明確に確認できる。
路盤厚が工事写真で明確に確認できる。
路盤の施工幅が写真で明確に確認できる。
路盤厚の掘り起こしによる管理で所定の個数を実施しているのが明確に確認できる。
路床・路盤の転圧が十分であることが施工写真で十分確認できる。
所定の現場密度の測定を実施し、その結果も適正である。
下層路盤工（路床）のブルーフローリングを実施しているのが写真および資料で確認できる。

☐				

【アスファルト舗装工】

舗設状況が適正に行われているのが写真で十分確認できる。
As混合物の出荷時、舗設時の温度、並びに交通開放時の表面温度が適切に管理されている。
舗装厚の管理を実施しているのが明確に確認できる。
※コア（現物）の目視により、厚さ、骨材、締固めが適正であるのが確認できる。
現場密度試験により密度を確認できる。（その十分な資料がある。）
アスファルト量及び粒度分布が適切である。
乳剤散布量が適正であるのが、写真や資料で確認できる。
※隅々まで丁寧に転圧され、隣接構造物に損傷等を全く与えていない。
※排水性・透水性舗装の場合、排水ドレーン管等の適切な設置が写真で十分確認でき、透水性が良好であることが試験結果および現地試験で確認できる。
※平坦性が確保されているのが、平坦性試験および現地の状況で確認できる。
表層と基層及び加熱アスファルト安定処理層の各層の打継目のずらし位置が適切である。
舗装表面にあばたやローラーマークなどがなく良好に仕上げられている。
人孔蓋等がある場合、すり合わせが良くむらなく（凹凸なく）仕上げられている。

【ブロック舗装工（インターロッキング、平板、レンガ、自然石等）】

基礎面が適切に施工されているのが、写真で十分確認できる。
※ブロック舗装の据付は所定の表面勾配が得られている。
※施工目地が丁寧に仕上げられている。

☐				

【薄層カラー舗装工（すべり止め舗装、樹脂系舗装含む）】

施工に先立ち基盤面の有害物を除去しているのが、写真で十分確認できる。
使用材料が適正であることが、資料等で十分確認できる。
各施工状況が写真で十分確認できる。
塗布量の空袋（缶）管理が、写真及び出荷伝票等で十分確認できる。（㎡当り、樹脂系バインダ1.9kg、骨材6.5kg、トップコート0.2kg、）
舗装表面に、割れ、ひくれ、浮き、剥がれ等がなく、骨材の粗さもなく、良好に仕上げられている。

☐				

【区画線工】

塗料の空缶管理が写真および出荷伝票等で十分確認できる。
塗料の施工前攪拌を実施し、よい状態で施工したことが写真で十分確認できる。
施工状況が適正であるのが確認できる。
※塗膜厚の測定結果が記録されており、現地で十分確認できる。
※刻印を打設しているのが写真や現地で確認できる。

良 可 不可

[illegible]

良 可 不可

良 可 不可

[illegible][illegible][illegible]

良 可 不可

☐ 19 各種製品設置工

良 可 不可 無

	基礎部（基礎コンクリート、削孔、取付具等を含む）の施工が適正なのが写真で十分確認できる。
	施工状況が適正であることが写真等で十分確認できる。
	※製品が製品仕様書等で定められたものと合致しており、良質である。
	※設置状況が適切であり、所定の機能が確認できる。

☐ 20 鋼構造物（鋼橋含む）

良 可 不可 無

	鋼材の員数照合がミルシート等で確認されている。
	有資格者による溶接の実施に関する書類と現地施工の関連性が十分確認できる。
	ボルトの締め付け確認が適正に実施され、その記録が管理されている。
	支承据付が適切に実施されているのが確認できる。
	※溶接に不十分な箇所がなく適正に行われているのが確認できる。
	※ボルトの締め付けが適正に行われているのが資料や写真で確認できる。
	※使用鋼材の品質が良質であることが写真または目視で十分確認できる。
	各種部材の架設が適正に施工されたのが写真で十分確認できる。
	各種試験が適正に実施されたことが、写真や資料で十分確認できる。

☐ 21 コンクリート橋

良 可 不可 無

	プレベーム桁のプレフレクション管理が適切に行われている。
	緊張管理が適切に実施されていることが確認できる。
	グラウト注入管理が適切に実施されていることが確認できる。
	プレストレス時のコンクリート強度を確認していることが確認できる。
	支承の施工が適切に行われたことが写真で十分確認できる。
	桁架設が適正に施工されたのが写真で十分確認できる。

（コンクリート施工関連は「現場打コンクリート構造物」等の該当項目に準ずる。）

☐ 22 橋梁付属工・補強工

良 可 不可 無

	クラック・剥離状況等の事前調査をしたことが資料で十分確認できる。
	各工種の施工手順が写真で十分確認できる。
	足場・支保工が適正に設置されているのが写真で十分確認できる。
	削孔深さが全本数管理されており、十分確認できる。
	※伸縮装置が適切に施工されていることが十分確認できる。
	橋面防水が適切に施工されていることが十分確認できる。
	※落橋防止施設が適切に施工されていることが十分確認できる。
	補強材が良質であることが資料や写真で確認できる。
	※補強材の接着等適切に施工されていることが写真および現地で確認できる。

☐ 23 塗装工
良 可 不可

無

- 塗装する面が乾燥状態であることが写真で十分確認できる。
- クレンが入念に実施されていることが写真で十分確認できる。
- 施工時の天候、気温、湿度等の条件が整理・記録されている。
- 塗料の施工前攪拌を実施し、良い状態で施工したことが写真で十分確認できる。
- 塗料の空缶管理が写真および出荷伝票等で十分確認できる。
- ※塗膜厚の測定結果が記録されており、塗膜厚測定器により現地で十分確認できる。
- ※塗膜に付着物が全くない。

☐ 24 河川・海岸・港湾工（海中含む）
良 可 不可

無

- 施工基面が平滑に仕上げられていることが写真等で十分確認できる。
- 捨石基礎の均し面が平坦に仕上げられていることが写真等で十分確認できる。
- 裏込材が適正に施工されていることが写真で十分確認できる。
- 胴込・裏込コンクリートが適正に施工されていることが写真で十分確認できる。
- ※遮水シートの適正な施工が写真や現地で十分確認できる。
- ※木杭が適正に施工されていることが写真や現地で確認できる。
- ※水制工の施工が適正であることが写真や現地で確認できる。
- ※土のう（大型含む）の施工（積み上げや止め杭等）が適正であることが写真や現地で確認できる。
- ※使用製品のかみ合わせや連結が適切である。
- ※使用石材の形状や径が適切で均一であることが、写真や現地で確認できる。
- ※捨石工が適切に行われていることが、写真や現地で確認できる。

（防波堤等の港湾用コンクリート構造物は「現場打コンクリート構造物」等の該当項目に準ずる。）
（石積・ブロック積（張）は「ブロック積・張（石・巨石含む）」等の該当項目に準ずる。）

☐ 25 かご工（袋詰含む）
良 可 不可

無

- 施工基面の施工が良好であることが写真等で十分確認できる。
- ※止め杭の施工が適正であることが写真や現地で十分確認できる。
- ※中詰石の径が適正であることが写真や現地で十分確認できる。
- ※中詰石の密度が適正で、不純物が混入していないことが写真や現地で十分確認できる。
- ※籠材が所定の規格を満足している。
- ※中詰後の籠材そのものが変形していない。
- ※鉄線や連結材等の突起や表面を危険のないように処理している。
- 吸出し防止シートの敷設が適正なことが、写真等で十分確認できる。（背面が砂質土等の場合）
- ※かごの設置状況が良好である。

☐ 26 ブロックマット工・連節ブロック工

良 可 不可

無

- ☐ 施工基面の施工が良好であることが写真等で十分確認できる。
- ☐ 施工状況が適切であることが写真で十分確認できる。
- ☐ 吸い出し防止シートの敷設が適正なことが写真で十分確認できる。
- ☐ ※固定方法が適切であることが写真や現場で十分確認できる。（固定ピン、連結具等）
- ☐ ※勾配がきちんと保たれている。

☐ 27 消波ブロック・根固めブロック製作工

良 可 不可

無

- ☐ 作業工程が写真で十分確認できる。
- ☐ 型枠の組み立てが適正であることが写真で十分確認できる。
- ☐ コンクリート打設が適切に実施されていることが写真で十分確認できる。
- ☐ ※製品に気泡跡等がない。
- ☐ ※製品にクラックがない。
- ☐ ※製品に傷や欠損がほとんどない。
- ☐ ※製作数量が確認できるよう番号等を表示している。

☐ 28 消波ブロック・根固めブロック設置工

良 可 不可

無

- ☐ 設置状況が適正なことが写真で十分確認できる。
- ☐ 吸出防止材の施工が適正であることが写真で十分確認できる。
- ☐ 連結金具の設置が、写真により十分確認できる。
- ☐ ※指定されたブロックの積み方が適正に行われている。
- ☐ 水中施工の場合、水中の施工状況写真で十分確認できる。（常時濁り水の場合は無）

☐ 29 砂防・地すべり

良 可 不可

無

- ☐ 地山との取り合わせが適切に行われていることが写真で十分確認できる。
- ☐ 各ブロックの施工基面（打ち継ぎ面）が適正に仕上げられていることが写真で十分確認できる。
- ☐ ライナープレートが適正に施工されていることが写真で十分確認できる。
- ☐ 集排水ボーリングの方向や角度を管理し、適正に施工を行っていることが十分確認できる。
- ☐ 集排水パイプの施工が適正で挿入長等が十分確認できる。

（砂防堰堤等は「現場打コンクリート構造物」等に準ずる。）

（鋼製のスリットダム等は「鋼構造物」等に準ずる。）

☐ 30 本設矢板工
良 可 不可

無
(1)

7111

使用材料の規格（厚・幅・長等）が写真等で十分確認できる。
 導材の設置状況が写真で十分確認できる。
 ※矢板の傾きやよじれや通りのずれがないことが写真や現地で十分確認できる。
 ※矢板の先端高のばらつきがない。
 ※矢板の噛み合わせが良いことが写真や現地で確認できる。
 アンカー等の控えが適切に施工されていることが写真で確認できる。
 コンクリート二次製品（等の該当項目に準ずる。）

☐ 31 仮締切工・仮設矢板工・仮設防護柵工
良 可 不可 無

[illegible]

無

[illegible]

各種仮設材の材料検収がもれなく行われている。	
矢板の打設状況が適正に行われたことが写真で十分確認できる。	
各段の切梁・腹起設置後に床堀が行われたことが段階確認写真等で確認できる。	
※矢板打設後の矢板の天端高のばらつきがない。(軋石や岩がある場合は除外)	
※矢板のたわみ等がないことが写真や現地で十分確認できる。	
※矢板の噛み合わせがよいことが写真や現地で確認できる。	
※切梁・腹起等が設計図とおり適正に施工していることが写真や現地で十分確認できる。	
※H鋼杭の立て込みが良好であることが写真や現地で十分確認できる。	
※横矢板の場合噛み合わせが良好であることが写真や現地で十分確認できる。	
水替工が適正に行われていることが写真で十分確認できる。	
※土のう(大型含む)の施工(積み上げや止め杭等)が適正に行われていることが写真や現地で確認できる。	
濁水処理が必要な場合は、その設備(防止フェンス含む)や処理が適切なことが写真で十分確認できる。	
※仮囲い設置状況が適切で、仮囲いが良好なことが写真や現地で確認できる。	
リース材等の日頃の管理を実施していることが写真や日報で十分確認できる。	
引き抜き(撤去)状況が適正に行われたことが写真で十分確認できる。	
※引き抜き跡の空洞の砂等による充填状況が写真で十分確認できる。	
撤去材料の積載状況が適正なことが写真で十分確認できる。	

で確認できる。
認でる。

32 仮橋工・仮栈橋工
良 可 不可 無

無

	7/11/11

使用材料（鋼材等）の規格（厚・幅・長等）が写真等で十分確認できる。
 施工状況が適正なことが写真等で十分確認できる。
 リース材等の日頃の管理を実施していることが写真や日報で十分確認できる。
 ※杭・桁・覆工板等の設置が設計図に忠実かつ適切に施工している。
 ※杭・桁・覆工板等の材料が良質であることが写真や現地で確認できる。

☐ 33 公園施設
良 可 不可

無

	※材料が適正な製品であることが資料や現場で確認できる。
	設置基面が適正であるのが写真や資料で十分確認できる。
	施工状況が適正であるのが写真で十分確認できる。
	※遊戯施設の安全性が十分確認できる。
	保険・補償が付いている。

☐ 34 植栽工
良 可 不可

無

	土壌試験（PH）を実施している。
	植穴、埋戻しが適正であることが写真で十分確認できる。
	肥料の分散、均一性を考慮し施肥されていることが写真で十分確認できる。
	障害物や有害物等の除去を実施していることが写真で十分確認できる。
	※樹木等に損傷や鉢くすれ等がなく、保護養生が適切に行われていることが写真や現地で確認できる。
	※余剰枝の剪定、整形等必要な手入れが行われていることが写真で十分確認できる。
	※高木植栽において支柱が堅固に取り付けられている。

☐ 35 除草工（伐木含む）
良 可 不可

無

	作業員の配置等、安全な状態で施工していることが写真で十分確認できる。
	巨木の場合、枝落とし・小切り・除根など各段階の施工が写真で十分確認できる。
	※除根後の凹部を同等の材料で補修していることが、写真で十分確認できる。
	集草を適切に実施していることが写真で十分確認できる。
	搬出状況が適切なことが写真で十分確認できる。
	場外への飛散流出の防止に対する配慮が確認できる。

☐ 36 機械・電気設備（水門、井堰、排水機場、照明等、下水道施設等）
良 可 不可

無

	品質や性能確保のための製作着手前の技術検討が行われていることが資料で十分確認できる。
	材料・部品・機器の品質や性能がミルシート、カタログおよび品質証明書等（現場照合を含む）で十分確認できる。
	有資格者による溶接および溶接管理が適切に実施されていることが十分確認できる。
	塗装および塗装管理が適切に実施されていることが十分確認できる。
	※材料・部品・機器そのものが良質強固であることが写真や現地で十分確認できる。
	※操作制御等の実動の機能が十分確認できる。
	※製品の機能、性能に全く問題がないことが十分証明され確認できた。
	※わかりやすい操作説明板等が準備されている。
	※実動のための安全面での配慮がなされている。
	※総合運転の結果により、所定の能力が十分確認できる。
	※漏水等がなく、水密性が十分確認できる。

（その他「現場打コンクリート構造物」「鋼構造物」「塗装工」等の該当項目に準ずる。）

☐ 37 電気・電気通信
良 可 不可

無

	仕様書等で定められた品質管理が行われていることが十分確認できる。（一般照明柱検査項目参照）
	単体品の必要な証明書類が全品十分確認できる。
	※単体品（材料・部品組立後）の設計図書等との整合が十分確認できる。
	※設備が設計図書等と整合していることが十分確認できる。
	※総合運転の結果により、所定の能力が十分確認できる。

38 上水道工事

良 可 不可

無

- 掘削時の土留め方法が適切に実施されていることが確認できる。
- 適正な掘削幅で施工されていることが写真で確認できる。
- 仕切弁、消化栓、止水栓等、及び弁栓室の傾きがない。
- 仕切弁、消火栓等の鉄蓋の表面仕上がりが良く、舗装との段差やガタツキ等がない。
- 仮復旧が適切に実施されていることが写真で確認できる。
- 埋戻において、締固めが適切な方法で施工されており、沈下が見られない。
- 切管部の加工・仕上げが適切に行われていることが確認できる。
- 管継手の接合が良好に行われていることが確認できる。
- ポリスリーブ、探知銅線、埋設シートの施工状況が確認できる。
- 割丁字取り出し及びポリエチレン管布設の場合、水圧試験を実施していることが確認できる。
- 推進時の掘進方法による周辺地盤への影響がみられない。
- 推進管の裏込め材料が充分充填されている。
- 給水管の施工が適切に行われていることが確認できる

☐ 39 下水道工事（推進工、人孔）

良 可 不可

無

- ☐ ※掘削時の土留め方法や推進時の掘進方法による、周辺地盤への影響が全くみられない。
- ☐ ※人孔において、連結部には止水シール・止水ゴムが適切に使用されていることが十分確認できる。
- ☐ ※インパートは形状、勾配、表面仕上げ等が適正で漏水がない。
- ☐ ※埋戻において、締め固めが適切な方法で施工されており、沈下が見られない。
- ☐ 推進中の中心線測量、水準測量等の管理記録が十分確認できる。
- ☐ ※管渠（管布設・矩形渠布設、推進）工において、目立った屈曲や沈下がない。
- ☐ ※管渠、人孔においてシール材・滑材・接着剤等のはみ出し等がない。
- ☐ ※管渠、人孔において漏水箇所が全くない。
- ☐ ※管渠継ぎ手部及び人孔連結部の目地仕上げが良好である。
- ☐ ※管渠に影響を与えるクラックや変形が全くない。（ある場合は、補修や手直しが必要）
- ☐ ※人孔の足掛金物の位置、方向が適切であり、鉄蓋設置においてガタツキがなく、仕上がり天端高も適正である。

- ☐ ※人孔蓋の天端は周辺地盤になじんでおり、周辺の復旧仕上がりがよい。
- ☐ 推進管の裏込め材料が十分充填されていることが写真や現地で十分確認できる。
- ☐ 取付管の施工が適正に行われていることが確認できる

☐ 40 下水道工事（シールド工のみ）

良 可 不可

無

- ☐ 施工条件及び気象条件に適した運搬時間、打設方法、養生方法等を適切に行なっている。
- ☐ 日々計測管理を行なっており、それに基づいた施工が行なわれていることが確認できる。
- ☐ ※2次覆工において漏水が全くない。
- ☐ ※裏込め注入を適切に行なっていることが、写真や資料で十分確認できる。
- ☐ ※セグメントの継手が適切に施工され漏水が全くない。
- ☐ その他（

（コンクリート施工関連は「共通」または「現場打コンクリート構造物」等の該当項目に準ずる。）

☐ 41 薬液注入工

良 可 不可

無

- ☐ 事前に薬液注入工事管理協議会等を設けて、管理が適正に行われていることが確認できる。
- ☐ 使用材料（硬化剤、助剤含む）の品質証明書の提出が十分確認できる。
- ☐ 使用材料（硬化剤、助剤含む）の入荷写真及び空袋管理で使用数量を十分確認できる。
- ☐ 削孔深さ、注入長が写真で十分確認出来る。
- ☐ 注入量、圧力等の施工管理が適正であることが十分確認できる。
- ☐ 注入効果が写真で十分確認できる。
- ☐ ※観測孔及び水質等の管理が適切に行なわれている。

☐ 4.2 下水道長寿命化（管更生工）

良 可 不可

無

- ☐ 事前処理工（取付管の突出、侵入水等）が適切に行われている。
- ☐ 充填材等の注入、挿入の管理が適切に行われている。
- ☐ 充填材等の計測記録が行われており、管理も適切に行われていることが確認できる。
- ☐ 更生材料の継手が適切に施工され、漏水がないことが確認できる。
- ☐ 縦断勾配の不陸等による欠陥や異常がないことが確認出来る。
- ☐ 上下流の管口処理が適切に行われている。

☐ 4.3 下水道施設における耐震補強工事（あと施工せん断補強筋打設・挿入・定着工）

良 可 不可

無

- ☐ 補強空間内にある電子機器、制御盤等を施設管理者と事前に協議し養生したうえで着手した。（シート、ビニル等）
- ☐ 補強前に、耐震補強面の既存鉄筋探査を適切に実施し、監督職員事前確認を受けている。
- ☐ 補強前に、耐震補強面、空間高等の事前計測を把握し、設計内容との差異を事前に確認した。
- ☐ 補強面の削孔完了時に、孔内清掃を施していることが写真で確認できる。
- ☐ 使用鋼材の照合がミルシート等で確認されている。
- ☐ 使用鋼材の品質が良質であることが写真または目視で確認できる。
- ☐ 現場と同条件のグラウト（充填材）養生供試体にて圧縮強度試験を事前に実施した。
- ☐ グラウト（充填材）施工管理が適切に実施されていることが確認できる。
- ☐ 削孔作業員の資格証を確認できる。
- ☐ 補強筋が既存躯体に適切に定着されていることが確認でき、その記録が適正に管理されている。
- ☐ 打設位置、削孔長、削孔径、せん断補強筋埋込み長、かぶりが管理されている。
- ☐ せん断補強筋定着後の基面が平滑に仕上げられていることが写真で確認できる。
- ☐ 削孔濁水を適正に処理したことが確認できる。

☐ 4.4 下水道施設における耐震補強工事（あと施工アンカー工・挿入・定着工、増打補強コンクリート工、鉄筋組立工）

良 可 不可

無

- ☐ 補強空間内にある電子機器、制御盤等を施設管理者と事前に協議し養生したうえで着手した。（シート、ビニル等）
- ☐ 補強面の削孔完了時に、孔内をブラシ清掃等を施していることが写真で確認できる。
- ☐ 使用鋼材の照合がミルシート等で確認されている。
- ☐ 使用鋼材の品質が良質であることが写真または目視で確認できる。
- ☐ 削孔作業員の資格証を確認できる。
- ☐ 増打コンクリート補強基面を目荒らし出来ていることが確認できる。
- ☐ 現場と同条件のコンクリート養生供試体にて圧縮強度試験を事前に実施した。
- ☐ 増打コンクリートの形状が設計図と相違ないことを写真で確認できる。
- ☐ あと施工アンカー筋が既存躯体に適切に定着されていることが確認でき、その記録が適正に管理されている。
- ☐ あと施工アンカー筋の打設位置、削孔長、削孔径、アンカー筋埋込み長が適正に管理されている。
- ☐ 鉄筋間隔（ピッチ）、鉄筋かぶりが適切に管理されており、写真で確認できる。
- ☐ 主筋と配力筋が番線等で確実に固定されており、写真で確認できる。
- ☐ 鉄筋と鉄筋の重ね継手長が確保され、適切な位置に設けられていることを写真で確認できる。
- ☐ 鉄筋と鉄筋の機械式継手の規格が設計仕様を満足し、適切な位置に設けられていることを写真で確認できる。
- ☐ フレア溶接の溶接方法（片面・両面）、工種（土木・建築）毎に適切な溶接長が確保されていることを写真で確認できる。
- ☐ フレア溶接の施工前に、鉄筋と鉄筋の供試体を作成し引張強度試験を事前に確認した。
- ☐ フレア溶接作業員の資格証を確認できる。

☐ 4.5 下水道施設における耐震補強工事（あと施工可とう性継手工）

良 可 不可

無

- ☐ 設置箇所の事前計測結果が確認できる。
- ☐ 施工箇所に漏水がある場合、適切な止水工が施されていることを確認できる。

☐ 46 機械・電気設備工事(下水道施設のみ)

良	可	不可

無

- ☐ 機材の品質及び形状が、設計図書等に適合する証明書が整備されている。
- ☐ 製造者による試験が適切に行なわれ、設計図書等に適合する証明書が整備されている。
- ☐ 施工完了時の試験及び記録が適切である。
- ☐ 品質管理計画による品質管理記録が整備されている。
- ☐ 不可視部分の写真記録が適切である。
- ☐ 施工の品質及び形状が適切で良好な施工である。
- ☐ 機能の適切性が確認できる、試運転等の記録が整備されている。

☐ 47 橋梁における耐震補強・補修工事（共通工）

良	可	不可

無

- ☐ 使用材料が設計図に示されている要求性能を満足することが確認できる。（炭素繊維シート、コンクリート、ひび割れ注入材、高欄、伸縮継手、塗装仕様等）
- ☐ 使用材料（硬化剤、助剤含む）の品質証明書が提出されている。

☐ 48 橋梁耐震補強工事（炭素繊維シート工）

良	可	不可

無

- ☐ 下地処理が適切に行われている。
- ☐ 飛散防止処置が適切に行われている。
- ☐ 補強材（炭素繊維シート）は、施工中1回以上の付着強度試験を行い、その品質を確認している。
- ☐ 補強材（炭素繊維シート）にふくれ、剥離、端部のめくれ等がない。
- ☐ 継手部は所定の継手長が確保されている。
- ☐ 継手位置が適切に配置されている。
- ☐ 定着材（アンカー等）は引き抜き試験により、許容する引張強度が確保できていることを確認している。
- ☐ 使用材料（硬化剤、助剤含む）は気象条件に適した使用量、使用時間等の管理が行われている。
- ☐ 使用材料（硬化剤、助剤含む）の入荷及び空袋で検査員の立会が行われている。
- ☐ 積層部について、各層ごとに適切に写真管理が行われている。

☐ 49 橋梁耐震補強工事（RC巻立工）

良	可	不可

無

- ☐ アンカー工の削孔深さが全本数管理されており、十分確認できる。
- ☐ 下地処理が適切に行われている。
- ☐ アンカー工は引き抜き試験により、許容する引張強度が確保できていることを確認している。
- ☐ 全体的に増厚幅を確認している。
- ☐ 打設直後の初期ひび割れがない。

☐ 50 橋梁補修工事（コンクリート橋補修工）

良	可	不可

無

- ☐ 着工前に現場調査を十分に行い、実態にあった合った補修方法を監督員と協議した上で、施工が行われたことが確認できる。
- ☐ ひび割れ注入材の注入量が確認できるような適切な管理が行われた。
- ☐ 使用材料（硬化剤、助剤含む）の入荷及び空袋で監督員の立会が行われた。
- ☐ 断面修復の際、鉄筋の錆を確実に落とし、鉄筋の裏面まで防錆材による処置が施されていることが確認できる。

☐ 51 橋梁補修工事（鋼橋補修工）

良	可	不可

無

- ☐ 塗装に含まれる成分を把握するとともに、環境省令で定められる判定基準に対し、有害（PCB、鉛、六価クロム）と判断された場合、適切に剥ぎ取り方法が選定されている。
- ☐ 塗装に含まれる成分に応じ、剥ぎ取った塗装は適切に廃棄手続きが行われている。
- ☐ 飛散防止処置が適切に行われている。
- ☐ 着工前に現場調査を十分に行い、実態にあった合った補修方法を監督員と協議した上で、施工が行われたことが確認できる。

52

ほ場整備

良

可

不可

無

	整地工	基盤整地が適正に実施されている。
	整地工	表土仕上げが適正に実施されている。
	整地工	整地関係工種が適正に実施されている。
	用水路工	用排水路は適正に実施されている。
	排水路工	法面の勾配が適正である。
	付帯工	付帯工の施工が適正に実施されている。
	管水路工	管水路工事が適正に実施されている。
	道路工	道路工が適正に実施されている。
	道路工	碎石舗装の締め固めが良好である。

53

暗渠排水工・湧水処理

良

可

不可

無

	起点立ち上がり、水閘の設置位置が適正である。
	排水口の高さが適正である。
	管の設置位置（高、横位置）が適正である。
	復旧が適正に行われている。

☐ 54 クリーク防災
良 可 不可

無

	事前に工事測量が実施され、報告されている。
	運土が適正に施工されている。
	土工が適正に施工されている。
	二次製品が適正に布設されている。
	ブロックマットが適正に施工されている。
	かごマットが適正に施工されている。
	積ブロックが適正に施工されている。
	復旧が適正に施工されている。

☐ 55 ため池
良 可 不可

無

	盛土工	掘削が適正に実施されている。
	盛土工	盛土工事が適正に実施されている。
	盛土工	必要な試験が必要回数（事前協議）実施されており、試験値はすべて規格値内である。
	取水設備	掘削が適正に実施されている。
	取水設備	底樋管が適正に布設されている。
	取水設備	規定の高さに構造物が設置されている。
	洪水吐工	掘削が適正に実施されている。
	洪水吐工	収縮、伸縮、誘発目地が適正に施工されている。打継目処理が適正に施工されている。
	洪水吐工	鉄筋の規格・加工・組立・圧接が適切に行われているのが写真で十分確認できる。（取水設備を含む。）

	洪水吐工	コンクリートが適正に打設されている。（取水設備を含む。）
	洪水吐工	埋め戻しが適正に実施されている。（取水設備を含む。）
	法面保護	法面の整形が適正に施工されている。
	法面保護	基礎、笠、帯工コンクリートが適正に施工されている。
	法面保護	法面保護工が適正に施工されている。（張ブロック、芝、表面遮水）

☐ 56 その他の品質項目（追加項目や特筆項目など）

良	可	不可
☐	☐	☐
☐	☐	☐
☐	☐	☐
☐	☐	☐
☐	☐	☐

無

☐	記入→	
☐	記入→	
☐	記入→	
☐	記入→	
☐	記入→	

(良×a+可×b-不可×c) / (対象項目最大合計点) = %

判定

(項目が少ない場合は特例を使用してください)

- | | |
|--------------------------|--|
| ☐ | 該当項目が80%以上・・・・・・ a |
| ☐ | 該当項目が60～80%未満・・ a' |
| ☐ | 該当項目が40～60%未満・・・・ b |
| ☐ | 該当項目が20～40%未満・・・・ b' |
| ☐ | 該当項目が0～20%未満・・・・ c |
| ☐ | 該当項目が-40～0%未満・・・・ d |
| ☐ | 該当項目が-40%未満・・・・・・ e |
| 直接入力 | 重要部や主要部である不可視部分の出来形管理写真が不十分。・・・・・・ d |
| 直接入力 | *出来形管理数値と現地測定値に大きな差異があり、管理不十分なのが判明した。・・・・ d |
| 直接入力 | *手直しするほどではないが、設計図面等を軽視した施工が見受けられる。・・・・・・ d |
| 直接入力 | *実測値が許容値を満足しなかったり、出来形不足により軽微な手直しを指示した。
・・・・ d (手直し指示書) |
| 直接入力 | ☐ *実測値が許容値を満足しなかったり、出来形不足により重大な手直しを指示した。
・・・・ e (手直し指示書+再検査) |

【出来形の少数項目の特例】 (品質評価項目数が4個以下では下記で評定を行う)

品質評価項目数=
特例適用判断→

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| ☐ | 該当項目が80%以上・・・・・・ a' |
| ☐ | 該当項目が60～80%未満・・・・ b |
| ☐ | 該当項目が40～60%未満・・・・ b' |
| ☐ | 該当項目が20～40%未満・・・・ c |
| ☐ | 該当項目が0～20%未満・・・・ d |
| ☐ | 該当項目が0%未満・・・・・・ e |

Ⅲ. 出来栄

[検査職員]

YES

- | | |
|--------------------------|---------------|
| ☐ | a. 総合的に優れている。 |
| ☐ | a' 優れている。 |
| ☐ | b. やや優れている。 |
| ☐ | b' 概ね良好である。 |
| ☐ | c. 普通である。 |
| ☐ | d. やや劣っている。 |
| ☐ | e. 劣っている。 |

判定

(緊急工事等の迅速性を問うものについては通常工事の評価より1ランク上げる。(例. cならb' にする))